

豊浦町幼小中一貫教育だより

発行者 豊浦町教育研究会 平成25年7月4日(木) 第6号

豊浦町幼小中一貫教育の充実・発展のために

子どもたちは、幼稚園から小学校へ、小学校から中学校へ進学するとき、新しい環境に慣れる必要があります。そのため、「時間割」「活動する場所」「集団の大きさ」「学習する内容」「対人関係」などの違いに不安を抱える子どもが少なくなく、新たな教育の課題となっています。

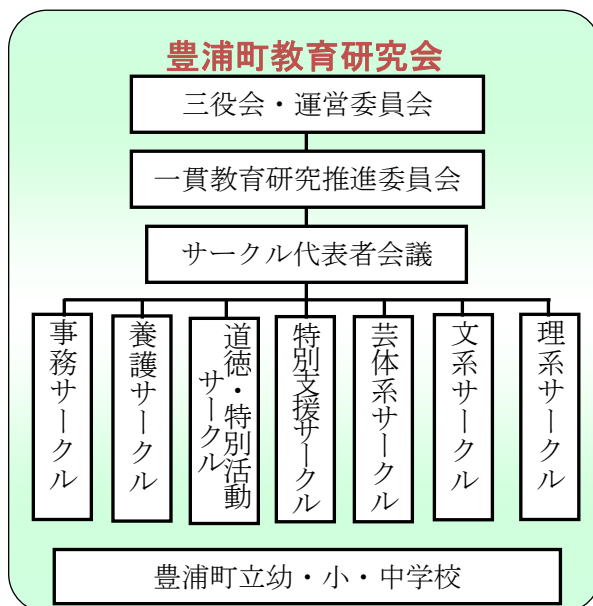
豊浦町では、子どもたちの交流活動や教育計画につながりをもたせ、安心して学ぶことができる環境をつくるために、幼小中一貫教育に取り組んでいます。

昨年度は、本町の一貫教育を充実・発展させるため町内の教職員で組織する豊浦町教育研究会に一貫教育研究会を融合し、効率的な研究を目指した体制の整備を行いました。

これにより、各サークルの特色を生かして幼小中一貫教育の研究を進められるようになりました。

一貫教育の取組の実際《交流学習》

町内の子どもたちの交流を進めるため、年3回の交流学習を実施しています。また、各サークルの研究を進めていくために、交流学習の中で、幼小・小中が交流したり連携したりする授業を行っています。今年度、北海道教育委員会の指定を受けた一貫教育の研究大会を予定しています。



幼小ジョイント教室

(音楽)

幼稚園児と小学生が、一緒に歌を歌ったり演奏したりして、音楽を通した楽しい交流活動を行います。



小中乗り入れ授業

(国語、算数、理科)

乗り入れ授業では、異校種の先生が、指導に入ります。専門的な指導や連携した指導により学習への興味関心を高め、学習内容の定着を図ります。



小中ジョイント教室

(音楽、英語)

小学生と中学生が、一緒に歌を歌ったり、英語の授業を行ったりすることで、小中の交流を深めます。



北海道学力向上トリプルUP！事業「連携力UP！」小中ジョイントプロジェクト研究指定

豊浦町幼小中一貫教育研究大会の開催 平成25年11月15日(金)